

# 普段のおでかけ どうやって 移動してる？

みなさんは普段どのような手段で移動していますか。徒歩や自転車、自動車、鉄道などさまざまかと思えます。

突然ですが、新潟市は「移動に伴う二酸化炭素の市民1人当たり排出量」が全国でも非常に多い政令市です(※)。交通手段別に二酸化炭素排出量を比較すると、家用自動車はバスの2.5倍というデータも(※)。ここでひとつ、環境のためにも健康のためにも移動手段のバリエーションを増やしてみませんか。今回はその道のプロにお話を伺いました。いつも、じゃなくて、たまに、でもOK。いろんな移動手段を活用しておでかけをより一層豊かな時間にしちゃおう。

※出典：移動しやすいまちづくり基本計画  
平成27年4月(令和元年12月改定) (新潟市)

新潟市の交通手段分担率で最も多いのは「自動車」。続いて「徒歩」「自転車」「バス」「鉄道」「二輪車」と続く。特に「自動車」の割合は平成28年のデータでは約7割となっており、(※)他の交通手段と比較して非常に高い。中央区は8区中最も自動車の利用割合は低いものの、多くの区民にとって自身の足に代わるような重要な存在となっているよう。

## 自転車マスターが語る 自転車移動のすばらしさ



自転車のまち「新潟」の会

岩間 正吉さん  
森下 浩次さん  
島田 久代さん

岩間さん：自転車は友達！二人でも、仲間でも気軽に始められる。例えば、目の不自由な方も、タンDEMを利用すれば十分楽しめます。また、知的障がい児などを対象とした自転車教室を企画したこともあり、今後も自転車を通

歩きのプロが語る  
まちあるきのすばらしさ



新潟シティガイド

神田 剛さん

コロナ禍でもできる観光は何かを考えたとき、答えの一つが少人数で楽しむまち歩きだと思います。毎日バスや車で通っていた通りも、日常の生活を離れてそこに立つてみると新しいものが見えてきます。一人でじっくり歩いてみたい小路、思わず入ってみたい建物、そして何度でも眺めてみたい水辺の景色に出会えると思います。



▲自転車のまち「新潟」の会

いいたが市民大学講座の受講生と賛同者を中心に発足。地域における自転車の活用を推進する活動に取り組んでおり、定例会のほか朝サイクリング、紅葉ライドなどのイベントも実施中。facebookで最新情報や活動の様子をチェックできる。



▶新潟シティガイド  
みなとまち新潟観光ボランティアガイド養成講座の受講者を中心に発足。中央区の新潟県立エリア沼垂地区を中心に、みなとまち新潟の魅力を一瞥！見ているだけで楽しいホームページが用意されています。

そうはいつでも、自分ででかけられない、でかけたくないときもある。そんなときはこんなものが使えるかも。

## 発見！こんないいものがありました

発見！こんないいものがありました

### 配達・移動販売 買い物マップ

店名	配達/販売時間	配達/販売内容
イトーヨーカドー 大浜店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 中央店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 沼垂店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 長岡店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 津波店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 津波店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 津波店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 津波店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 津波店	12時～18時	食品・日用品
イトーヨーカドー 津波店	12時～18時	食品・日用品

▲マップだけでなく見やすい一覧もあり

## 自分だけでがんばろうとしなくて大丈夫。せつかくの地域の資源、活用してみよう。

中央区関屋・白新圏域支え合いのしくみづくり会議から生まれた「配達・移動販売買い物マップ」。自宅まで購入した商品を届けてくれたり、移動販売をしてくれる地域のお店を紹介している。現在発行されているマップの情報は令和2年3月時点のものだが、今後定期的に更新予定。



ちなみに、このようなマップは以前から存在はしていたが、5年以上も更新されていなかった。中央区関屋・白新圏域支え合いのしくみづくり会議からここで一度新たに地域の資源を見える化してみようとの声があり、このマップができあがった。

地域の方からは「わたしも欲しい！」「このマップがあつてよかった」などの嬉しい声があがっているのだとか。

## 新潟有名店の味を タクシーでお届け「タク配」



新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえたタクシー事業者による有償貨物運送について許可を得たタクシース会社(四つ葉タクシース)が自宅まで料理をお届け。配達エリアも順次拡大中とのこと。料金と配達料はかかるが、新潟有名店の料理が自宅まで味わえるという特別感、ぜひ体験してみてください。メニューなど詳細はホームページから。



また、いま新潟市では「新潟市タクシース事業者デリバリーサービス補助事業」を実施中。デリバリータクシースに関する飲食店事業者は新潟市都市政策部都市交通政策課(025-226-1272)へ相談を。

## 自宅で受診可能 「電話・オンライン診療」



新型コロナウイルスの感染拡大を受けて注目されている、電話やスマートフォンなどを使った「電話・オンライン診療」。初診も対応可能な場合もある。「電話・オンライン診療」を希望の場合は、まず医療機関のホームページ等で確認するか直接電話をして「電話・オンライン診療」可能か問合せを。新潟県内の対応医療機関リストは新潟県ホームページに掲載している。



## あたらしいバスのかたち 「しも町オンデマンドバス」



こんなおもしろい実験をしました  
「しも町オンデマンドバス」  
オンデマンドバス(On-Demand Bus)とは、スマートフォンや電話での予約に応じて乗車バス停から最適なルートを選び、途中で他の利用者と相乗りしながら到着バス停へ向かうサービス。決められた時刻表は無く、予約が入ると走行する。

このオンデマンドバスの実証実験が、令和2年3月2日～3月31日の平日のみ、しも町～本町・古町エリアで

実施された。延べ約120名の利用があり、多い方は10回以上利用するなど新たな需要の可能性も見えた。利用者からは、高齢者が利用するのに有用であるとの意見やオンデマンドバスエリア拡大の希望もあがっている。

現在この実証実験は終了しているが、今後も新たな交通手段等により新潟市の公共交通網が維持され、移動利便性が向上していくことが期待される。



写真提供：新潟交通機